

LESSON XIV

「頻出論理マーカ―」のまとめと演習

1. 「論理マーカ―」とは？

論理マーカ―とは、前後をある種の論理で結びつける語句のこと。discourse marker とも呼ばれています。論理マーカ―は品詞としては「接続詞」「副詞」「前置詞(句)」などがあります。みなさんに一番おなじみの論理マーカ―は however, for example, so して therefore あたりでしょうか。however は「しかしながら」という意味で、前後を「逆接[対比]」の(論理)関係で結びつけます。

(ex) She believed the story; however, her husband didn't believe it.

彼女はその話を信じた。しかしながら、夫はそれを信じなかった

上の英文でも however の前後は「信じる」「信じない」と、逆の(対比的な)関係になっていますネ。

for example は「例えば」という意味で、前後を「抽象とその具体例」のイコール関係で結びつけます。

(ex) There are a lot of domestic animals on the farm; for example, cows, horses and pigs.

その農場には多くの家畜がいる。たとえば乳牛、馬、豚などだ

上の英文でも for example 以降は、(その農場の)家畜の具体例であり、両者は(内容的に)イコール関係ですネ。

therefore は「それ故」「だから」という意味で、前後を「原因と結果」の(論理)関係で結びつけます。

(ex) I've never been to The U.S.; therefore I don't know much about it.

アメリカへは1度も行ったことがない。だからよく知りません

上の英文でも therefore の前後は「原因と結果」の関係になっているのがわかりますネ。

論理マーカ―についての知識を問う問題は、文法・語法問題でも時として出題されることがあります。

After many years of war, the country has lost much of its power. □, its influence should not be underestimated.

- ① Even so ② Even though ③ So ④ Thus

【解説】

まず②(Even though)は節(S+V)と節(S+V)をつなぐ接続詞。直後がカンマで区切られて使われることはないなのでこれは違うとわかる。

(ex) Even though he is over eighty, he can walk pretty quickly.
S+V S+V

彼は80歳を越えているがかなり速く歩ける

空欄の前の英文は「長年の戦争の後、その国は大半の力を失ってしまった」。空欄の後ろの英文は「その影響力は過小評価されるべきではない」。空欄の前後の内容は対照的であることがわかる。このような(論理)関係で前後を結びつけることができるのは①(Even so)しかない。意味は「たとえそうだととしても」。ちなみに③(So)と④(Thus)は「したがって」という意味で、前後を「原因(理由)と結果」の関係で結びつける。

(ex) He got quite excited, so he didn't feel sleepy at all.

彼はすっかり興奮したので少しも眠いと感じなかった
You failed all your tests. Thus you can't graduate.

君は全部のテストに落ちた。従って卒業できない

2. 「論理」とは？

ところで「論理」とは何でしょうか？「論理」というと、なにかそれだけで難しく聞こえるかもしれませんが。でも、実はそんなに大したものではありません。なぜなら、結局のところ「論理」といってもそれは3種類しかないからです。具体的には以下の3つがそれです。

(1) A ⇔ B

前後が内容的に「逆(又は対照的・対比的)」の関係になる論理。

(2) A = B

前後が内容的に「イコール」の関係になる論理。

具体的には、「抽象とその具体例」「追加[添加]」「言い換え」など。

(3) ① A(原因) → B(結果) / B(結果) ← A(原因)

前後が「原因とその結果」「結果とその原因」の関係になる論理。

② A(問題提起) → B(解答)

では早速、それぞれの論理を作り出す論理マーカ―を具体的に見ていくことにしましょう。

(1) 前後を「逆(又は対照的・対比的)」の関係で結びつける論理マーカ―。

以下にあげた語句によって結びつけられたAとB(前半と後半)は、内容的に「逆(又は対照的・対比的)」の関係になる。

- | | |
|-----------------------------|-----------------------|
| ① A. But B | 「A. しかしB」 |
| Though S + V~, S + V... | 「~だけれど、...だ」 |
| Although S + V~, S + V... | 「~だけれど、...だ」 |
| While S + V~, S + V... | 「~だけれど、...だ」 |
| ② A. However, B | 「A. しかしながらB」 =though, |
| =A. Yet, B | 「A. にもかかわらずB」 |
| =A. Still, B | 「A. それでもなおB」 |
| =A. All the same, B | 「A. それでもなおB」 |
| =A. Nevertheless, B | 「A. にもかかわらずB」 |
| =A. Nonetheless, B | 「A. にもかかわらずB」 |
| ③ A. On the other hand, B | 「A. その一方(で)B」 |
| =A. Meanwhile, B | 「A. その一方(で)B」 |
| ④ A. In spite of this, B | 「A. これにもかかわらずB」 |
| ⑤ Opposite to A, B | 「Aとは逆に、B」 |
| ⑥ A. On[To] the contrary, B | 「A. それどころかB」 |
| ⑦ A. In[By] contrast, B | 「A. 対照的にB」 |
| ⑧ A. By comparison, B | 「A. 対照的にB」 |

(ex) 「昔のテレビ番組は楽しかった。しかしながら、今のTVはつまらない」

「私は、その料理はおいしいと思った。これに反して、妹はまずいと思ったようだ」

「野球は若者に人気がある。その一方で、相撲は人気がない」

「彼は裁判で無罪の判決を受けた。それでもなお、彼女は、彼は有罪だと言い張った」

「彼はおとなしい女の子が好きだ。それとは対照的に、僕はにぎやかな女の子が好きだ」

《注意事項》

1. 上記の中で①の **but, though, although, while** は接続詞(それ以外は全て副詞)なので、例えば空欄補充問題などで(空欄の)直後にカンマ(,)があったら、そこに入れることはできない。

ただし、**though** だけは、文中・文末で、(カンマで区切られてたりして)用いられると、副詞になり、「しかしながら(=however)」という意味になる。

以下はそんな副詞の **though** を用いた例文。

(ex) Ted didn't want to tell us the story ; he did, though.

テッドは我々に話したがらなかった。でも結局は話してくれた

The most important point, though, is to understand the importance of going over your copy more than once.

重要なことは、けれども、メモを2回以上読み返すことの大切さを理解することです

2. また **but** はなんの脈絡もなく冒頭で用いられることはない。つまり

(1) 第一パラグラフの冒頭に **But** がきたり

(2) **But S + V**~, **S + V**...

というような使われ方はしない。

☞ **S + V. But S + V**...はOK。

3. 「それどころか」という **On the contrary** は、直前の内容の程度を更に強めた文を導くこともある。以下の例文でも **on the contrary** の後ろの内容は、前の内容を強調している(逆接ではない)。

(ex) He's not stingy; on the contrary, he's very generous to the needy.

彼はけちではない。それどころか、困った人にはとても気前がよい

(2) 前後を「イコール」の関係で結びつける論理マーカー。

以下の語句によって結びつけられたAとBは「イコール関係」が成立しています。BはAの内容の「具体例」や「言い換え」や「付け加え」などであったりします。内容的には両者は基本的に「イコール(又は類似)」である点がポイントです。

①「A(抽象) = B(Aの具体例)」

1. such A as B 「A. たとえばBのような」「BのようなA」
=A such as B

2. A. For example, B 「A. たとえばB」
=A. For instance, B
=A. To name (but) a few, B
=A, say, B

(ex) 「彼にはたくさんの長所がある。例えば、頭がいいし、性格も温和だ」

《注意事項》

- such as も後ろにカンマ(,)があつたら使えない。逆に for example[instance]は、通例カンマで区切って用いる。
- 上記以外に以下のような表現もある。

To take[give] an example 「例えば」

Let us take an example 「一例をあげよう」

As an example of A 「Aの一例として」

An illustration will make this point clear.

「一例をもってこの点を明らかにしてみよう」

In illustration of A 「Aの例証として」

By way of illustration 「実例として」

Let us take an illustration 「例証してみよう」

This is seen in A 「このことはAに見受けられる」

特に、これらの論理マーカーがパラグラフの冒頭にあつた場合、そのパラグラフ全体が前のパラグラフの「具体例」になっているとみていい。

- また、「具体例[事実・論拠]」を列挙[記]する際によく用いられる論理マーカーに、以下のようなものがある。

First A. Second B. Third C. Then D. At last[Finally/Lastly] E.

「まず第一にA。第二にB。第三にC。その次にD。最後にE」

Firstly[To begin with] A. Secondly B. Thirdly C.

「まず第一にA。第二にB。第三にC」

For one thing A. For another thing B.

「一つにはA。もう一つにはB」

In the first place A. In the second place B.

「第一にA。第二にB」

- ・「主張(トピックセンテンス)」には、より抽象的な表現が使われるのに対して、「具体例」や「理由」といったサポートには、より具体的な名詞(固有名詞)や事件・事実を表わす名詞が使われることが多い。つまり、英文を読んでいて

(1)固有名詞

(2)数詞

(3)(直前の内容とは一見)無関係に見える内容。つまり突然の関係ない話(のいずれか)を含む英文が現れたら、それは、直前の内容の具体例[理由]だとみてほぼ間違いない。

②「A = B(Aの言い換え)」

1.A. That is to say, B 「A。すなわちB」

=A. That is, B

=A. Namely, B

2.A. In other words, B 「A。言い換えればB」

3.A. In short, B 「A。要するにB」

=A. In a word, B

=A. In brief, B

=A. To sum up, B

=A. (To put it) Briefly, B

=A. (To put it) Shortly, B

=A. To make[cut] a long story short, B

(ex) 「半年前、すなわち今年の四月に彼は大学生になった」

「もう会いたくない。要するに君のこと嫌いなんだ」

③ 「A = B (Aの付け加え的内容)」

1. A~, B also~. 「Aは~だ。Bもまた~だ」
=A~, B~, as well.

2. A. Besides, B 「A。更に加えてB」
=A. Moreover, B
=A. In addition, B
=A. Further(more), B
=A. What is more, B
=A. Additionally, B

3. In addition to A, B 「Aに加えて、更にB」
= Besides A, B
= Adding to A, B

(ex) 「私、夕食にごはん3杯食べちゃった。それに加えて[おまけに]、デザートも食べちゃった」
「優しさに加えて、彼は誠実さも兼ね備えている」

4. Not to mention A, B 「Aは言うまでもなく、B」
=to say nothing of A, B

④ 「A = B (Aと類似・同様の内容)」

A. Similarly, B 「A。同様にB」
=A. Equally, B
=A. Likewise, B
=A. In the same way, B

(3) 前後を「原因[理由]と結果」の関係で結びつける論理マーカー。

① 「原因 → 結果」の関係

1. A. Thus, B 「A。その結果B」 A = 原因[理由]

2. A. Therefore, B 「A。それ故B」 B = 結果

=A. Hence, B

=A. Accordingly, B

=A. Consequently, B

3. A. As a result, B 「A。その結果としてB」

4.A. This is why S+V... 「A. こういうわけで…だ」

=A. For this reason, B 「A. このような理由でB」

=A. Because of this, B

5.Since S+V~, S+V... 「~なので、(その結果) …だ」

= Because S+V~, S+V...

S+V~. So S+V... 「~だ。それ故[だから]…だ」

6.Because of A, S+V... 「Aの理由で、S+V…だ」

= Due to A

= Owing to A

= On account of A

= Thanks to A

(ex) 「彼は宿題をしてこなかった。その結果、居残りをさせられた」

「今日は風邪気味だった。それ故学校を休んだ」

② 「結果 ← その原因[理由]」の関係

1. S+V~. This is because S+V... 「~だ。というのは(原因は) …だからだ」
[結果] [原因]

=S+V~, for S+V...

2. S+V~. The reason for this is that S+V... 「~だ。その理由(の一つ)は…だ」

S+V~. One of the reasons for this is that S+V...

(ex) 「アメリカは殺人事件が多い。というのはアメリカは銃が多いからだ」

3.A. After all, B 「A. なぜならB」

(ex) It is no use getting angry with him. After all, he is only a child.

彼のことで腹を立てても無駄だ。だって(なぜなら)まだ子供なのだから

會もちろん after all には「[通例文尾で](意図・予想・計画などに反して)結局」
「やはりとうとう」といった意味もある。

(ex) I thought she was going to fail the exam, but she passed after all.

私は彼女が試験に落ちると思ったが結局は受かった(てよかった)
So you have come after all.

ほう、やっと来てくれたね

前後を「原因と結果」の関係で結ぶ動詞達

「～を引き起こす」型の動詞、(主語が「物・事」だった場合の)explain, account for [～を説明する]や contribute to[～に寄与する], produce[～を生み出す], create[～を生み出す], mean[～を意味する] provoke[～を挑発する], trigger[～のきっかけとなる], be responsible for(～の原因である)などは、「S = 原因」「O = 結果」という意味 関係になることが多い。

その場合、「Sが原因となって、結果としてOが生じる[できる]」などと訳してもいい。

※ただしmeanの場合は「S=O」の関係になることもある。

(ex) The red light means 'stop'. 赤信号は「止まれ」の意味だ

④ 「～を引き起こす」型の動詞には bring about, cause, lead to, give rise to, induce result in, provoke, trigger (off), set off などがある。

S 【原因】	① 「～を引き起こす」型の動詞	O 【結果】
	② explain	
	account for	
	produce	
	create	
	mean	
	contribute to	
	be responsible for	
	⋮	

4.その他の頻出の論理マーカー。

(1) A. Instead, B

① 「A。それよりはむしろB」 [A⇔B]

「A。それどころか(ところが)B」

◎ AとBは「逆(又は対照的・対比的)」の関係になる。

(ex) 「都会の華やかさもいいが、それよりはむしろ個人的には田舎の静けさが好きだ」

② 「A。その代わりにB」 [A⇔B]

◎ BはAのまさに”代わり”となる内容になる。ただ両者の関係は、対照的に
なることが多い。「Instead of A, B:AをせずにB」という言い方もある。

(ex) 「妹は、母の手伝いはしないで、代わりにテレビを見ていた」

(2) A. Otherwise, B 「A。さもなければB」

◎ Aは条件。Bはそれに反した場合の結果。

(ex) 「しっかり勉強しなさい。さもないと、お父さんみたいになっちゃうわよ」
[前半の条件に反した場合の結果]

(3) A. In fact, B

=A. As a matter of fact, B ◎ Indeed, Actually, in reality などでも言い換えられる。

① 「Aだ。(ところが)実はBだ」 [A⇔B]

◎ AとBは「逆(又は対照的・対比的)」な関係になる。

(ex) 「彼は金には困っていないと言った。ところが実は借金まみれだった」

② 「Aだ。それどころか実際Bだ」 [A = B (Aの程度を更に強める内容・補足。

又は具体例など)]

◎ BはAの程度をより強めた内容・補足、あるいは具体例などになる。

(ex) 「彼女は気にしちやいないよ。それどころか実際、喜んでるんだよ」

◎ 実際の英文では②の用法で用いられることが多い。

(4) A. Rather, B

- ① 「Aだ。それどころかBだ」 [A = B (Aの程度を更に強める内容)]
= On the contrary

Ⓢ BはAの程度をより強めた内容になる。

(ex) 「彼を尊敬なんかしちゃいない。それどころか軽蔑しているよ」

- ② 「Aだ。むしろその代わりBだ」 [A ⇔ B]
= Instead

Ⓢ AとBは「逆(対照的・対比的)」の関係になる。

(ex) 「自分のことばかり話すのは良くないよ。むしろその代わり人の話をよく聞くようにすべきだ」

- ③ [A. Or rather B] 「Aだ。もっと正確に言えばBだ」
= A. More correctly, B [A = B]

Ⓢ AとBは「イコール」の関係になる。

(ex) 「僕は野球のことは詳しくない。もっと正確に言えば、ルールもろくに知らないんだ」

(5) 結論を導く論理マーカ―。

- ① in conclusion 「結論として」
= as a conclusion

- ② in any case[event] 「いずれにせよ[しても]」
= at any rate

- ③ to sum up 「要約すれば[すると]」

Ⓢ これらの論理マーカ―の後ろには、文字通り「結論・まとめ[要約]」又は「主張の再提示」となる内容がくる。

(6) 「譲歩」や「一般化」を表す論理マーカ―。

「譲歩」や「一般化」を表わす論理マーカ―は、「逆接」「対比」を表わす論理マーカ―とセットで用いられ、その(「逆接」「対比」を表す論理マーカ―の)後に筆者の「主張(つまりトピックセンテンス)」がくることが多いのです。これもわかりやすいように、日本語で例をあげてみましょう。

(ex) 「一般的に言って老人は記憶力が悪い。しかし、昔のこととなると彼らの記憶力は頼りになる。何十年も前のことを、まるで昨日のことのように覚えている。先日もうちの祖父は…」

「なるほど、最近の若者は頼りない。昔なら男は12歳にでもなれば、侍なら元服、つまり一人前の大人とみなされた。女も15~16歳で嫁に行くのは当たり前だった。しかし、現代という時代性を考慮に入れると、一概にそうとも言えないのではかろうか。価値観の多様化、高度情報化、国際化など、現代の若者を取り巻く情勢は、過去に例を見ないほど複雑だ」

上記の2つの例文の場合、「しかし」という逆接語の前までは、単なる「(譲歩の一般論)」であり、「しかし」の後に「主張」が述べられています。

① 「一般化」を表す論理マーカー

on the whole	「一般的に言って」
in general	「 〃 」
by and large	「 〃 」
as a rule	「 〃 」
generally speaking	「 〃 」
all in all	「だいたい」「概して」
in most cases	「たいていの場合には」
in almost all cases	「 〃 」
in many cases	「多くの場合」
broadly speaking	「大雑把に言って」
to some extent[degree]	「ある程度は」
mostly	「大部分は」
most people	「大抵の人々は」

② 「譲歩」を表す論理マーカー

(It is) True (that) S+V~	「なるほど~だ」
Of course, S+V~	「なるほど~だ」
Indeed, S+V~	「なるほど~だ」
No doubt, S+V~	「なるほど~だ」
At first, S+V~	「はじめのうちは~だ」
S+may+V~	「~かもしれない」
Certainly, S+V~	「確かに~だ」
Surely, S+V~	「確かに~だ」

To be sure, S+V～ 「確かに～だ」

罇 「確かに～だ」という表現の場合、「譲歩」を示す場合と、（それとは逆に）筆者の主張を補足する際に用いられることもある。

あるいは、単に「確かに、確実に、必ず」という意味で用いられることもある。

(ex) He has never broken his promise. He will surely be here on time.

彼は一度も約束を破ったことはありません。必ず時間どおりに来ますよ

She'll certainly pass the exam.

彼女はきっと試験に通るだろう

may[might]なども、単なる推量を意味することもあるが、段落冒頭のこれらの語句、それから逆接の論理マーカーと共に用いられている場合は、100%「譲歩」を表すと思っていい。

3. 「論理マーカ―」確認問題

A. 次の文章の（１）・（２）に入れるのに最も適当な語句を、それぞれ下の①～④のうちからひとつずつ選べ。

1. Seeing bears in the wild can be one of the most memorable experiences on camping trips in national parks. (1) it can also be a dangerous one if care is not taken. Some campers make foolish mistakes. For example, they get out of their cars to take a snapshot or even try to feed the bears. (2) acting like this toward wild bears can turn an enjoyable vacation into a tragedy.

(1)

① Nor ② Otherwise ③ Therefore ④ Yet

(2)

① Meanwhile ② Namely ③ Shortly ④ Unfortunately

【解答&解説】

(1)

まず「形」から①の Nor の可能性が消える。なぜなら Nor は否定の接続詞で、これが文頭で使われると、否定の副詞の場合と同じようにその後は「疑問文と同じ語順」になるからだ。それから、②の otherwise(さもないば)は、これ自体が if 節と同じ意味を持っている。なのに(1)の直後の英文には後半に更に if 節がくっついている。これは変だ。

答えは③(それ故)と④(にもかかわらず、しかしながら)に絞られた。後は「論理」。つまり③は前後を「原因と結果」の関係で、④は前後を「逆[対照的]」の関係で結びつける。どちらが
いいか。

「野生の熊を見るのは国立公園でキャンプをする旅の中では最も心に残る(思い出深い)経験の一つだ」

(1)

「もし注意を払わなければ、危険なこともある」

両者は「逆[対照的]」の関係になっている。答えは④だ。

(2)

まず②(すなわち)と③(要するに)だが、これらは両方とも後ろに「直前の言い換え」となる内容を導く論理マーカーだ。つまり②が正解なら③も正解になりえてしまう。選択肢に同じ意味の(同じ論理を導く)ものがあつたら、それらは両方とも答えの可能性から外していい。

①(その方は)、前後を「逆[対照的]」の関係で結びつける。④(あいにく、残念ながら)は、不本意な(残念な)内容がその後にはくる。

「例えば、彼らは車から出て写真を撮ったり、あるいは熊にエサをやろうとさえしてしまう」

(2)

「野生の熊に対してこのように振る舞うことは、楽しいはずの休暇を悲劇に変えてしまうこともありうる」

両者を結びつけるにふさわしいのは④になる。

《訳》「野生の熊を見るのは国立公園でキャンプをする旅の中では最も心に残る(思い出深い)経験の一つだ。しかしながら、もし注意を払わなければ、危険なこともある。キャンプをする人の中には愚かな間違いをしてしまう人もいる。例えば彼らは車から出て写真を撮ったり、あるいは熊にエサをやろうとさえしてしまう。残念なことに、野生の熊に対してこのように振る舞う楽しいはずの休暇を悲劇に変えてしまうこともありうる」

2. Fainting, the condition of a brief loss of consciousness, occurs from lack of oxygen (O₂) in the brain. Tension on blood vessels can lead to this condition.

For example, a quick turn of the head can reduce blood flow to the brain, which naturally reduces the oxygen in the brain. (1), wearing neckties or shirts with tight collars can put pressure on the vessels. (2), the brain, lacking enough oxygen, fails to work properly.

(1)

- ① Moreover ② Anyway ③ Finally ④ Instead

(2)

- ① As a result ② At least ③ In contrast ④ What is more

【解答&解説】

(1)

まず選択肢の中で③はないだろうと予想できる。なぜなら③(最後に)は、Firstly(第一に)、Secondly(第二に)などとセットで用いることが多い。単独でいきなり文頭で、Finallyなど、評論的な英文ではまずすることはない。

残りは一つ一つその導く論理を確認していこう。

①(更に)は、直前の「付け加え」的な内容が後にくる。②(いづれにせよ、それはさておき)は、日本語と使い方は同じで、

(1)(すでに述べたことはさておき)「まあいづれにせよ」

(2)(一度脱線したあと話を本題に戻して)「ともかく」「それはそうとして」

といった使い方をする。

④(その代わりに、むしろ)によって結ばれる前後は、多くの場合「逆[対照的]」の関係になる。それでは空欄の前後を読み比べてみよう。

「血管の緊張がこのような状態を引き起こすことがあり得る」

+

「例えば、急に頭を振ると脳への血液の流れが減少し、当然脳内の酸素が減る」

(1)

「ネクタイや(首周りの)きついシャツを身につけていると血管に圧力を加えてしまうこともあり得る」

空欄の前の英文は、「血管の緊張」の原因となる行為の具体例。空欄の後ろの英文はまた別の具体例。つまり「付け加え」。ということは正解は①ということになる。

(2)

②(少なくとも)は、よく but とセットで用いて前後を「逆[対照的]」の関係でつないだりする。

(ex) 「彼は、頭は悪いかもしれない。しかし少なくとも性格は良い」

①(その結果として)は、前後を「原因と結果」の関係、③(対照的)は、前後を「逆[対照的]」の関係でそれぞれ結びつける。④(おまけ)は、moreover と同じ意味。つまり前の英文の「付け加え」的な内容がその後にはくる。では空欄の前後を読み比べてみよう。

「ネクタイや(首周りの)きついシャツを身につけていると血管に圧力を加えてしまうこともあり得る」

(2)

「脳は十分な酸素が得られず、適切に機能できなくなる」

これはどう見ても「原因と結果」の関係だ。正解は①。

《訳》 「気絶、すなわち意識が短時間失われる状態は、脳内の酸素の欠乏によって起こる。血管の緊張がこのような状態を引き起こすことがあり得る。例えば、急に頭を降ると脳への血液の流れが減少し、当然脳内の酸素が減る。更に加えてネクタイや(首周りの)きついシャツを身につけていると血管に圧力を加えてしまうこともあり得る。その結果、脳は十分な酸素が得られず、適切に機能できなくなる」

B. 次の問では、空欄に入れるべき三つの文が、順不同で下のA～Cに示されている。論理的な文章にするのに最も適当な配列のものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。

1. One aspect of sports is winning or losing. Athletes, coaches, and spectators all agree that no one likes to lose. () Recognizing these differences in attitudes will help us when talking to athletes who have lost.

A. Studies show that female athletes tend to say failure is caused by their lack of skill or effort.

B. Male athletes, on the other hand, tend to point to factors such as luck or the strength of the opponents.

C. Researchers, however, have found differences in the ways male and female athletes respond to losing.

① A-B-C

② C-A-B

③ A-C-B

④ C-B-A

⑤ B-C-A

⑥ B-A-C

【解答&解説】

まず、「論理マーカー」をチェックする。Bの **on the other hand**(**その方**)がすぐ目に飛び込んでくる。これは前後を「**逆[対照的]**」の関係で結びつける論理マーカーだ。つまり、Bの直前には、Bとは「**逆[対照的]**」な内容を持つ英文がなくてはならない。そんな英文はAしかない。

A. 「研究では、女性のスポーツ選手は負けたのは自分の技能や努力が足りないせいだと言う傾向があることを示している」

↓

on the other hand(**その方**)

↓

B. 「男性のスポーツ選手は運とか対戦相手の力のような要因を指摘する傾向がある」

次はCの英文中の **however**。これも、前後を「逆[対照的]」の関係で結びつける論理マーカ―だ。

C. 「しかしながら、研究者たちは、男性のスポーツ選手と女性のスポーツ選手では敗北に対する反応が**異なっている**ことを明らかにしている」

「異なっている」の「逆」は「同じ、一致する」だ。そんな内容がどこに見つかるかという、空欄の直前の英文だ。

「選手、コーチ、観客いずれも負けるのを好む者はいないという点で意見が**同じだ**[一致する]」

これで正解は C-A-B とわかった。

《訳》「スポーツの一つの側面として、勝ち負けがある。選手、コーチ、観客いずれも負けるのを好む者はいないという点で意見が同じだ。しかしながら研究者たちは、男性のスポーツ選手と女性のスポーツ選手では、敗北に対する反応が異なっていることを明らかにしている。研究では、女性のスポーツ選手は、負けたのは自分の技能や努力が足りないからだと言う傾向があることを示している。その一方、男性のスポーツ選手は、運とか対戦相手の力のような要因を指摘する傾向がある」

2. Economic growth refers broadly to an increase in wealth over a certain period of time. ()
Even though gross national product, GNP, is a widely used measure, there are those who argue that it is not the most appropriate.
- A. There are some differences of opinion among these specialists, though.
B. Economists generally agree on what influences economic growth.
C. They disagree, for example, about how they should measure economic growth.

- ① C-A-B ② A-C-B ③ B-C-A
④ C-B-A ⑤ A-B-C ⑥ B-A-C

【解答&解説】

まず選択肢中の「論理マーカー」と「指示語」をチェックする。

Aに二つ見つかる。though と、these specialists の these だ。though は、文中や文末でカンマ(,)などで区切られて用いられると however と同じ意味の副詞になる。つまり前後を「逆[対照的]」の関係で結びつける。それから specialists に these がついているということは、specialists(又は specialists に相当する語)がその前で使われていたはず、と類推できる。この二つの条件を満たす英文はどれか？ それはBだ。

B. 「経済学者(Economists)達は、何が経済成長に影響を与えるのかということに関して概して意見が一致(agree)している」



A. 「しかしながら、これらの専門家たちの間で、いくつかの意見の違いがある」

specialists は、economists を受けていたんだ(確かに economists は経済の専門家だ)。さて、B-Aのつながりが分かってしまうと、後は「B-A-C」になるのか「C-A-B」になるのかという二者択一だ。これをカンタンに見極めるヒントはCの主語の They だ。もし「C-A-B」となるなら、空欄の直前の英文中に、この They になりうる「複数名詞」があるはず。が、そのような「複数名詞」は直前の英文中にはない。ということはもう答えは「B-A-C」しかない。

《訳》 「経済成長とは、広い意味ではある一定期間の間の富の増加のことを指す。経済学者たちは、何が経済成長に影響を与えるのかということに関して概して意見が一致している。しかしながらこれらの専門家達の間で、いくつかの意見の違いがある。例えば彼らはどのように経済成長を測るべきかということに関して意見が一致していない。国民総生産(GNP)は広く利用されている尺度であるにもかかわらず、それは最適なものではないと主張する専門家たちもいる」

3. Many people believe that it rains all the time in Britain. () For example, London's annual rainfall is not much different from that of Paris or Berlin.

A. However, the climate of southeast Britain is more or less the same as that of the northwestern part of the European mainland.

B. The image of a wet, foggy land was created two thousand years ago by the Romans, who were from sunny southern Europe.

C. This image has been preserved in modern times by Hollywood movies.

① B-A-C ② C-A-B ③ A-B-C

④ B-C-A ⑤ A-C-B ⑥ C-B-A

【解答&解説】

同じように「論理マーカー」それから「指示語」もチェックする。すぐ目に飛び込んでくるのは、Aの **However** だ。

「しかしながらイギリス南東部の気候はヨーロッパ本土の北西部の気候と多かれ少なかれ同じなのである」

この英文と「逆[対照的]」の内容が、その前にはくるはず。

次にCの This image の This だ。This がついているということは image(又は image に相当する語)がCの前の英文になければならない。とするとBの主語が The image で、これ以外、image という単語はどこにも使われていないので、-C とつながるのでは、と類推できる。

次に着目してほしかったのは空欄の直後の For example だった。これは前後を「抽象とその具体例」という「イコール」の関係で結びつける。For example の後には、直前の英文の具体例となるような内容がくる。

「たとえば、ロンドンの年間降水量はパリやベルリンの年間降水量とそれほど変わらないのである」

この内容と「イコール関係」になりうるのはAしかない。これで正解は「B-C-A」と決まった。Aの However はこうしてみると、前の内容全部を受けて、それを逆転させていたのだとわかる。

《訳》 「多くの人達はイギリスではいつも雨が降っていると信じている。はじめじめして霧が多い国[土地]というイメージは2000年前、天気のいい南ヨ-

ロッパからやってきたローマ人によって作りあげられた。このイメージはハリウッド映画により、近年においては保持されている。しかしながら、イギリスの南東部の気候はヨーロッパ本土の北西部の気候と多かれ少なかれ同じなのである。たとえば、ロンドンの年間降水量はパリやベルリンの年間降水量とそれほど変わらないのである」

C. 空欄に入れるべき選択肢の組み合わせとして最もふさわしいものを一つ選べ。

The desire for peace is common to almost all human beings. History has shown, (1), that lasting peace is difficult to achieve (2) disagreements and misunderstandings between people and countries.

A. because of B. but C. for example D. though

① C-B

② C-D

③ D-A

④ D-B

【解答&解説】

まず①～④の選択肢から、先頭にくるのはC.(for example)かD.(though)だとわかる。そこでそれぞれの語の作り出す論理を考えてみる。

for example は、その前後を内容的に等しい関係で結ぶ。具体的には**一般論[抽象論]**とその**具体例の関係**になる。つまり **for example** の後には、**前の内容の具体例**となるような文が来る。

though は普通は接続詞として用られるのだが、文中、文尾でカンマに区切られて「しかしながら(=however)」という意味になることがある(この場合、品詞的には副詞になる)。そしてその場合、前後を「**逆[対照的]**」の関係で結ぶ。

次に前後の論理を考えるのだが、今回の場合注意してほしい事が1つある。それは、(1) の部分を文頭に移動させてからその論理を考えるということ。このように**論理マーカ**が文中に(カンマなどではさまれて)挿入されてしまっている場合、**必ず文頭に移動させて、その前の文との論理を考えるように**すること。

History has shown,(1),that lasting...



(1), history has shown that lasting...

つまり今回比較すべき前後の論理というのは The desire で始まる第1文と、History で始まる第2文との間の論理なのだ。

The desire for peace is common to almost all human beings.

平和への願いはほとんど全ての人類に共通のものである

(1) History has shown that lasting peace is difficult to achieve...

歴史は永続的な平和を達成するのは困難であるということを明らかにしている

そうすると両者の論理は「逆[対比]」の関係になっていることがわかる (少なくとも両者が「たとえば」で結びつくことはありえない)。

したがって正解は③ (D - A) か④ (D - B) のどちらかになる。

次に (2) だが、これは「形[構造]」から考えるとわかりやすい。つまり **but は、前後を構造的に等しい関係で結ぶ**。ところが (2) の前後は、構造的に等しい形にはなっていない。

difficult to achieve (2) disagreement and misunderstandings

形容詞+to不定詞

名詞+名詞

したがって正解は③だということになる。

《訳》 「平和への願いはほとんど全ての人類に共通のものである。しかしながら歴史は、人民と国家との間の不一致や誤解の故に、永続的な平和を達成することは難しいということを明らかにしている」

D. 次の文章の (1) ~ (4) に入れるべき4つの語または語句が、順不同で、下のA~Dに示されている。意味の通る文章にするのに最も適した配列を、①~④のうちから1つ選べ。

(1) most of us have the impression that bones are dry, living bones are actually not dry at all. (2), they have a wet outer layer. (3), inside they contain a soft,moist material that is essential to life itself. (4), “dry”is by no means an accurate description of living bones.

A. Although

B. Furthermore

C. Therefore

D. To begin with

① A - C - D - B

② A - D - B - C

③ D - A - B - C

④ D - C - B - A

【解答&解説】

まず（ 1 ）を含む英文の構造に着目する。

（ 1 ） most of us have the impression that bones are dry,

S V

living bones are actually not dry at all.

S V

どうやら（ 1 ）には節(S+V)と節(S+V)を結ぶことができるものが入らなければならないだろうということが見えてくる。選択肢の中でこのような構造を後ろに従えることができるのは(従位)接続詞の Although のみ。この時点で正解は①か②に絞られた。

Although は両者を対比[対照]的な関係で結びつけるのがその特徴。確かにここでも、Although の後ろの2つの節同士は、内容的に対比的な関係になっている。

「私達のほとんどは骨は乾いていると思っているけれども、生きている骨は実際には全く乾いてなどいない」

次にわかりやすいのが（ 3 ）だ。（ 3 ）の前後は wet(湿った)に moist(湿った)と、同じ内容の形容詞が使われている。つまり内容的な変化がない。となると、そのような関係で前後を結びつけるのはBの「おまけに」という意味の Furthermore だけ。（ 1 ）にAが、（ 3 ）にBがくる並びになっているのは②(A-D-B-C)だ。

《訳》「我々のほとんどは骨は乾いていると思っているけれども、生きている骨は実際乾いているなどということは全くない。まず第一に骨には湿った外層がある。更に加えて、内側には生命それ自体にとって不可欠なやわらかい湿り気を帯びた物質を骨は含んでいる。それ故、“乾いている”という言葉は、生きている骨を正確に表現したものでは全くない」

E. 次の問では、空欄に入れるべき4つの文が、順不同で、下のA～Dに示されている。意味の通る文章にするのに最も適した配列を、①～④のうちから1つ選べ。

To stay healthy, we should maintain a balance between physical and mental play – the play of the body and of the mind. □

- A. By the time we are adults, we may stop participating in physical play altogether.
- B. As we get older, however, our games are likely to involve more mental than physical activity.
- C. When we are very young children, we use our bodies a lot when we play.
- D. As a result, we may begin to lose our physical health.

① B – A – C – D

② B – C – D – A

③ C – A – D – B

④ C – B – A – D

【解答&解説】

まず①～④の選択肢を見ると、先頭にくる文はBかCのどちらかだとわかる。Bの文を訳してみると

「**しかしながら**大きくなるにつれて、我々の遊びは身体的なものより、より精神的な活動を含むものになりがちである」

この文の中の however に注目する。「しかしながら」という **however** は、前後を「**逆[対照的]**」の関係でつなぐ論理マーカー。ということは、Bの前にはBと逆の内容を持つ文章がないといけないということになる。つまりBは先頭にはこれないということ。空欄の前には冒頭文があるが、この英文も、Bと逆の意味関係にはなっていない。

ということは、この時点でCが先頭にくるとわかった。正解の選択肢は③（C – A – D – B）か④（C – B – A – D）のどちらかだ。

ところでまたさっきの however の話に戻ると、however を含んだBの逆の内容を考えてみると、「小さい頃は、我々の遊びは精神的なものより身体的な活動を含むものだ」になる。これと同じような内容の文はCしかない。つまりCとBは内容的に逆の関係になっている（即ちつながる）とわかる。とすればもう答えは④しかない。念のためにAとDのつながりもみておくと、Dの先頭には **as a result**「**その結果として**」があ

る。これは前後を「原因と結果」の関係で結ぶ論理マーカ―だ。そして読んでみると、AとDはまさしく原因と結果の関係になっていることがわかる。

A 「身体を使った遊びをやめる」 → D 「身体を健康を失いはじめる」
[原因] [結果]

《訳》 「健康を保つためには、我々は身体を使う遊びと頭を使う遊び、つまり身体的遊びと精神的遊びのバランスをとらなくてはならない。我々は幼いときには、遊びをする場合に身体を非常に使う。しかしながら成長するにつれて、我々の遊びは身体的なものよりも、より精神的な活動を含むものになりがちである。成人する頃には身体を使う遊びに参加することを全くやめてしまう。その結果、我々は身体的な健康を失いはじめるのである」

F. 次の英文を読んで設問に答えよ。

1.

Eating chocolate is often associated with negative health implications such as acne, weight gain or tooth decay. Recent investigations, however, have proven that these myths are greatly overstated, and that in fact chocolate is rather good for one's health.

First, according to two studies (one done by the Pennsylvania School of Medicine and the other by the U. S. Naval Academy), chocolate has no connection to acne. Other experts say that acne is not directly linked to diet.

Second, chocolate is not the cause of cavities or tooth decay. On the contrary, cocoa butter, which is an ingredient in chocolate, is actually good for the teeth because it coats them and prevents plaque from forming.

Last, of course, an overload of chocolate might cause weight gain, but so would any other food with a certain amount of sugar in it. Therefore, one cannot simply connect chocolate with weight gain.

Investigations by experts have helped us understand more about how the consumption of cocoa and chocolate affects our health.

One of the most striking findings was that cacao polyphenol, which is found in chocolate, can protect against cancer and other serious diseases. It also promotes resistance to stress and allergies such as hay fever. A survey done by Japan Food Research Laboratories showed that chocolate contains more polyphenols than either green tea or red wine.

An experiment done on rats by Professor Hiroshi Takeda of Tokyo Medical College showed that cacao polyphenols may act on humans to prevent stress or promote recovery from stress. In the experiment, rats were placed in a stressful environment and then fed with food including polyphenol. First, healthy rats were divided into two groups ; one group was raised using food with polyphenol and the other without polyphenol. After that, they were all shut in an environment in which none of them could move freely. Results showed that rats that were given polyphenol were less affected by the stress than those that weren't given polyphenol. Further study indicated that when cacao polyphenol was given several times to rats that were under continuous stress, they were better able to recover from the stress.

In still other studies, the distinct aroma of chocolate has been shown to have a beneficial effect on the brain, resulting in the appearance of alpha waves, which appear when the brain is relaxed.

One positive effect of chocolate undoubtedly lies in the sugar content, which is said to

sharpen concentration. Glucose, a type of sugar, is the main source of energy for the brain. According to one study, a car-driving simulation to test the effect of glucose showed it improved the concentration levels of the drivers. A liquid including sugar was given to one group and one without sugar to another group. After people drank the liquid, they were made to drive. No difference was observed when they drove in low gear, but there was a distinct difference when driving in high gear. The group that drank the sugary liquid were better drivers.

Consequently, one of the researchers suggests that you should have chocolate as a regular part of your diet, taking into account the total calories consumed during the day.

【設問】本文のタイトルとして最も適切なものを、①～④の中から一つ選びなさい。

- ① Chocolate and Cancer
- ② Chocolate and Eating Habits
- ③ Chocolate and Health Benefits
- ④ Chocolate and Weight Gain

【解答&解説】

まず第1パラグラフ第2文にHoweverという逆接語が含まれている。あるパラグラフ内で第2文に逆接語が含まれている場合、その第2文にトピックセンテンスがあることが多い。

☞「トピックセンテンス」とは、そのパラグラフで最も重要な情報[筆者の主張]が提示されている文のこと。

「しかしながら最近の調査によって、こういう俗説はかなり誇張されたものであり、実はチョコレートはむしろ健康によいということが証明されている」

これが第1パラグラフであるので、この文は本文全体を貫くトピックセンテンスとなっていると類推できる。とするとこの時点で正解は③とわかってしまう。

- ① 「チョコレートと癌」
- ② 「チョコレートと食習慣」
- ③ 「チョコレートと健康効果」
- ④ 「チョコレートと体重増加」

一応その後の展開だが、第2～第4パラグラフが「第1に(First)」 「第2に(Second)」 「最後に(Last)」 という、具体例の列挙を示す語句で始まっているところから、これらは

すべて、トピックセンテンスをサポートする具体例なのだろうとわかる。

第5パラグラフは、「ココアとチョコレートの消費と我々の健康への影響についてこのあとで述べますよ」と述べることにより、第6パラグラフ以降が、その具体的影響の列挙となるであろうことを暗示させている。実際第6～第10パラグラフは、予想通り、ココア、チョコレートを摂取した場合の体への好影響の具体例となっている。

第6パラグラフ…カカオポリフェノールが、ガンやその他の重篤な病気を防ぐ可能性がある
ある

第7パラグラフ…カカオポリフェノールが、ストレスを防いだりストレスからの回復を
早めたりする

第8パラグラフ…ポリフェノールを与えると、ストレスからよりうまく回復できる

第9パラグラフ…チョコレート特有の芳香が、脳により影響を与え、アルファ波が出
る

第10パラグラフ…チョコレートのプラス効果は糖分によるもので、糖は集中力を高め
る

最終パラグラフの冒頭文が Consequently (それ故、結果として) という「主張の再提示」を示す論理語句になっている。

「このようなわけで、研究者のひとは、1日あたり消費する総カロリーを考えながら、毎日の食事の中にチョコレートを取り入れてはどうかと勧めている」

実際これは研究者の言葉を借りてはいるが、要するに「チョコレートは体に良いから毎日食べよう」と、第1パラグラフの内容を繰り返している。

【全訳】

チョコレートを食べることは、しばしばにきびや体重の増加や虫歯など、健康への悪影響を連想させる。しかしながら最近の調査によって、こういう俗説はかなり誇張されたものであり、実はチョコレートはむしろ健康によいということが証明されている。

まず第1に、2つの研究（1つはペンシルヴェニア医科大学によるもので、もう1つはアメリカ海軍兵学校によるものである）によると、チョコレートはにきびとは何の関係もないということだ。また別の専門家も、にきびは食べものとは直接関係がないと言っている。

次に、チョコレートは虫歯の原因ではない。それどころか、チョコレートの原材料であるココアバターは、歯をコーティングして歯垢ができるのを防いでくれるから、実は歯に

は良いのだ。最後に、チョコレートを食べすぎるともちろん体重は増えるであろう、ある程度砂糖が含まれる食べものなら、どんな食べものでも同じことになるだろう。そういうわけで、チョコレートと体重の増加を単純に結びつけることはできないのである。専門家の研究報告を見ると、ココアとチョコレートの消費が私たちの健康にどのような影響を及ぼしているかを、さらに知ることができる。

最も目覚ましい発見のひとつは、チョコレートに含まれるカカオポリフェノールがガンやその他の重篤な病気を防ぐ可能性があるというものだ。また、ストレスや花粉症などアレルギー症状に対する抵抗力も高めてくれる。日本食品分析センターで行われた調査によって、チョコレートには緑茶や赤ワインよりも多くのポリフェノールが含まれていることがわかった。

東京医科大学の武田弘志教授によるネズミを使った実験では、カカオポリフェノールがストレスを防いだり、ストレスからの回復を早めたりと、人間に作用することがわかっている。

実験では、ネズミはストレスの多い環境に置かれ、ポリフェノールを含むエサを与えられた。まず初めに健康なネズミが2つのグループに分けられて、一方のグループはポリフェノール入りのエサで飼育され、もう一方はポリフェノールが入っていないエサで飼育された。その後で、ネズミは全部自由に動くことができない環境の中に閉じこめられた。その結果、ポリフェノールを与えられたネズミは、与えられなかったネズミに比べてあまりストレスの影響を受けなかったことが証明されたのである。

さらに研究によって、ずっとストレスにさらされているネズミに何度かカカオポリフェノールを与えると、ストレスからよりうまく回復できることがわかった。

また別の研究でも、チョコレート特有の芳香が脳により影響を与え、その結果、脳がリラックスした時に発生するというアルファ波が出ることが明らかになっている。

チョコレートのプラス効果は、間違いなく糖分によるもので、糖は集中力を高めると言われる。糖の一つであるグルコースは脳の主要なエネルギー源だ。ある調査によると、グルコースの効果を試す運転実験をしたところ、グルコースによってドライバーの集中力が高まったという結果が出たそうだ。あるグループは砂糖入りのドリンクをもらい、またあるグループは砂糖の入っていないドリンクをもらった。そして、彼らはそれを飲んだ後で、運転しなければならなかった。低速で運転していたときには何の違いも見られなかったが、高速運転になると明らかな相違があった。砂糖入りドリンクを飲んだグループのほうが運転が上手だったのだ。

このようなわけで、研究者のひとりには、一日あたり消費する総カロリーを考えながら、毎日の食事の中にチョコレートを取り入れてはどうかと勧めている。

2.

Every day we hear about the problem of hunger in Africa. Many authorities cite causes, (1) drought and overpopulation. They (2) suggest solutions, such as food aid and population control.

It is true that such realities as drought and overpopulation worsen the problem of hunger in Africa. (3), these realities are not the real cause of Africa's famine, the origin of which is poverty, and only by doing something about poverty itself can we solve the hunger problem in Africa.

I am not suggesting that we ignore the problem of drought and overpopulation. (4), I believe we should study them carefully in order to learn what lies behind them. Let us look, (5), at drought. Insufficient rainfall is a problem for farmers all over the world.

(6) it is only the truly poor who die from it. How, then, did Africans become so poor? In the past several hundred years, with the help of European colonizers, the best farm lands were taken and planted in cash crops for export, with profits going to a few of the wealthy. (7), there has not been enough food produced for the poor majority, and it is these already hungry people who are so affected by drought. (8) food aid treats symptoms, not causes, I suggest that the only longstanding solution to this problem lies, not in food aid, (9) in revising Africa's farming practices.

Now, let's look at the second problem authorities mention, (10), overpopulation. It is true that Africa's population growth rate is higher than that of any other continent. However, having many children is logical for African farmer, (11) need a lot of workers for the family farm and who know that one out of three of these children will die before adulthood.

Studies from all over the world show that the best way to raise living standards is to lower birth rates, but it does not mean that lower birth rates produce higher living standards. Therefore, when African parents can be sure their children will survive and that they can earn a decent living, they will not need to have so many of them.

(12), I suggest that when we hear the words drought and overpopulation in connection with famine in Africa, we keep in mind the real enemy, namely poverty.

【設問】 空欄(1) ~ (12)に入れるのに最も適した語(句)をそれぞれ①~④から選べ。なお、選択肢の単語は全て小文字にしてある。

- | | | | |
|-------------------------|----------------|-----------------|-------------------|
| (1) ① either | ② consequently | ③ likewise | ④ such as |
| (2) ① also | ② but | ③ for example | ④ nevertheless |
| (3) ① and | ② finally | ③ therefore | ④ however |
| (4) ① then | ② at least | ③ moreover | ④ on the contrary |
| (5) ① such as | ② first | ③ however | ④ though |
| (6) ① even though | ② by the way | ③ but | ④ then |
| (7) ① on the contrary | ② consequently | ③ second | ④ at last |
| (8) ① this is because | ② this | ③ however | ④ since |
| (9) ① but | ② and | ③ by the way | ④ though |
| (10) ① that is | ② that of | ③ about | ④ for example |
| (11) ① they | ② who | ③ that | ④ which |
| (12) ① third | ② at last | ③ in conclusion | ④ then |

【解答】

(1)④ (2)① (3)④ (4)④ (5)② (6)③ (7)② (8)④ (9)① (10)① (11)② (12)③

【解説】

この問題も、(11)以外は全て論理マーカーについての知識を問う問題になっている。

(1)

空欄直前の cause(原因)とはもちろん「アフリカの飢餓の原因」のこと。

そして空欄直後に drought(干ばつ)、overpopulation(人口過剰)とある。ここから両者は「抽象的表現とその具体例」の関係になっていると見る。そんな関係で前後を結びつけられるのは such as(たとえば~のような)のみ。

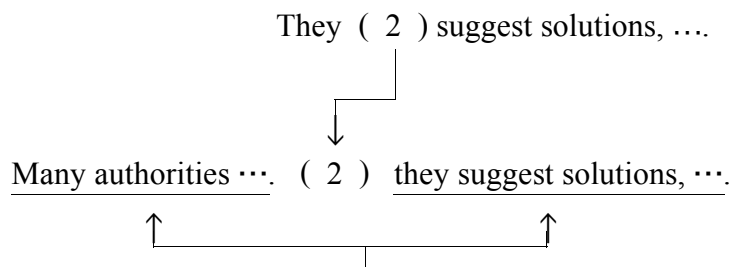
(2)

直前文の

「関係機関の多くは、干ばつや人口過剰といった様々な原因を挙げている」

と、直後の文である

「彼らは（ ）食料援助や人口抑制のような解決策も提案している」
は、共に多くの関係機関のアフリカの飢餓問題に対する見解。つまり両者は並列関係にあると見る。そんな関係で前後を結びつけられるのは、also(もまた)のみ。
それから論理を考える上で注意したいのは、(2)のように、論理マーカ―が文中に(カンマなどではさまれて)挿入されてしまっている場合、必ず文頭に移動させて、その前の文と(論理マーカ―を含む文と)の論理を考えるようにすること。



両英文を結びつける論理を考えてみる！

(3)

(It is) True (that) ~ + 逆接の論理マーカ― + S+V... で、「なるほど～。が、しかし…」となる。

(4)

④が正解になる理由は、「それどころか」という On the contrary は、直前の内容の程度を更に強めた文を導くこともあるんだ。本問の空欄前後はまさにそのような内容になっている。

(5)

ここは、第5パラグラフ冒頭の Let's look at the second problem. がヒントになっている。ちなみに first, second... という表現は、具体例[理由]を 列挙[記]する際に用いる論理マーカ―だった。

(6)

①は文法的に入り得ない。その理由は even though は従位接続詞なので、2つの S+V を結びつける。(6)を含む英文には S+V は1つしかない。次に前後の意味関係に注目してみると、()をはさんで対比的な関係になっていることに注目し、逆接の論理マーカ―を選ぶ。

案するのである。

さて、それでは関係当局が口にする2番目の問題、即ち人口過剰の問題について見てみよう。なるほど、アフリカの人口増加率は他のいかなる大陸よりも高い。しかしながら、アフリカの農民にとってたくさんの子供を持つことは合理的なことなのである。というのは、家族で営む農場では、たくさんの労働者が必要であり、子供達の3人に1人は成人になるまでに死んでしまうことを彼らは知っているからなのである。

世界中で行われた調査によって、生活水準を上げるための最善の方法は、出生率を下げることだというのはわかっている。しかしそれは、出生率の低下が高い生活水準を生み出すということを意味するものではない。それ故、アフリカの親達が、自分達の子供が生き延びることができるかと確信を持たたとき、そして自分達がちゃんとした稼ぎができると確信を持たたときに、彼らはそんなにたくさんの子供を持つ必要がなくなるだろう。

結論として、アフリカにおける飢餓に関連して干ばつや人口過剰という言葉を我々が耳にする際には、真の敵、即ち貧困というものを心に留めておくべきだと私は言いたいのだ。

この英文、君達ならカンタンに訳せるはず。

(ex) Make haste, otherwise you will be late for school.

急ぎなさい。さもないと学校に遅刻しますよ

しかし、副詞の otherwise は「さもないと」という意味しかないと思っ
ている人は要注意。なぜならそれでは意味が通じない otherwise が受験ではよ
く問われるから。

(ex) Jack thought otherwise.

この英文、「ジャックはさもないと考えた」では全く意味不明だ。
しかも実際(特に難関大学では)このような otherwise が問われることの方が
多いのだ。

実は、副詞の otherwise は、「in other ways」又は「in a different way」
と考えると見えてくる英文があるのだ。

會ただし、(in と共に用いる) way には「方法」以外に「点」という意味
もあるので注意。

具体的には以下のように otherwise を訳す。

(1) 「他[別]の方法で、違ったふうに」

(ex) Jack thought otherwise. ジャックはそうは考えなかった

※「ジャックは違ったふうに[別のやり方で]考えた」ということ。

You should have done otherwise. 君は他の方法ですべきだったのに

You would not have done it otherwise than your parents did.

あなたも両親がしたようにするほかなかったらう

※otherwise than Aで「Aとは違った方法で(は)」。

(2) 「その他の点で (は)」

(ex) Nancy has a freckled face, but otherwise she is a very cute girl.

ナンシーはそばかす顔だが、その他の点ではとてもかわいい子だ

The bedroom is a bit too small, but otherwise the house is satisfactory.

寝室がちょっと狭いが、それを別にすればこの家は満足できる

After he retired, he was leading an otherwise happy and uneventful life in the country.

引退後、彼はその他の点では幸せで平穏な田舎暮らしをしていた

上記以外に形容詞の otherwise もあります。「そうではない」「(～とは)異なる」という意味。「異なる」という意味では、different とほぼ同じと考えるといいでしょう。

(ex) Some are wise and some are otherwise in the world.

世の中には、賢い人もいればそうでない人もいる

instead に関して

instead という副詞は、「その代わりに」「それどころか」「そうではなくて」などと辞書にはあるが、場合によっては「その代わりに」の「その」を具体的に和訳に出さなければならなかったり、その「その」「それ」「そう」が具体的に何を指しているかが、設問に問われることがあるので注意しよう。

What sometimes appears as child's self-will, as mischief, indifference or rudeness, will instead be a resistance against forming a false relationship.

《語句》 self-will:わがまま

mischief:腕白、いたずら

indifference:無関心

rudeness:無作法

resistance:反発

form:～を作る

false:偽りの、見せ掛けの

relationship:(人間)関係

【解答&解説】

「カンマとカンマで囲まれた[はさまれた]部分はいったん()でくくると文の骨組みが見えてくる」というルールを知った人が、最初に陥る落とし穴が今回のような問題です。実はカンマは、語句と語句を挿入する際だけに使うものではありません。語句と語句を並列したり、副詞(句・節)と主節を区切ったり、同格(句・節)を導いたり…といろいろな働きがあるのです。

愈カンマの用法の詳細については、LESSON11 を参照せよ。

本問のカンマは、最初の2つは「並列のカンマ」、3つ目のカンマは、「主語が長すぎたことを詫げるカンマ(つまりここで主語が導く語句が終わることを示す)」で、「挿入のカンマ」ではありませんから、()でくくったりしてはいけなかったのです。

さて次に文の骨組みですが、こんなルールがありましたね。

「what や how が導く節(句)は基本的にS・O・C、又は前置詞の目的語のいずれかになる」

愈例外は what is more(おまけ)などの決まり文句のみ。

本問では what が導く節(いわゆる what節)が文頭に来ており、文末に? もないところから、What節がS(主語)になっているのだろうと予測できます。実際 What は rudeness までを導いていて、この What節がS(主語)です。でもなぜ rudeness までを導いていると(言い方を変えれば、なぜ What節は rudeness までで終わっていると)と言えるのでしょうか。それを見極めるルールも以前紹介しましたね。こんなルールでした。

① 1つの節に動詞は1つだけ。

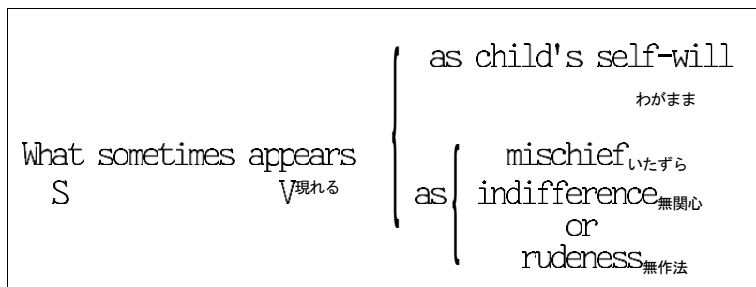
愈つまり、1つの節に動詞が2個も3個もあることはないということ。

② 節の初めから数えて2つめの動詞よりも(手)前でその節は終わっている。

このルールを使えば、本問の文頭の What節は、(What から数えて2個目の動詞である) will ~ be の手前で終わっていることが一瞬でわかるのです。そしてその will be が文の骨組みとなるV(動詞)になっているとわかるのです。

愈 instead は副詞なのでいったん()でくくってしまってもいい。

それから a resistance がC(補語)になっていて、本文全体は第二文型(SVC)です。against~relationship は resistance を修飾する形容詞句ですね。



⑤

will (instead) be a resistance against forming a false relationship.
 ⑥ C ↑ 反発 見せかけの人間関係を作る[持つ]

次に具体的な解釈に移りましょう。まず What節ですが、「少年のわがまま、いたずら、無関心あるいは不作法としてしばしば外に現れる[見えている]もの」となります。

この as は直後に「名詞」のみを伴っているので(前置詞とみなし)、「～として」と訳します。

④ mischief, indifference or rudeness が「A, B or C」の構造になっているところから、この3つは並列構造で共に as の目的語になっていることを見抜く。

will 以降は、「～が[は]、実はそうではなくて、見せかけの人間関係をもつ[に携わる]ことに対する反発である[反発しているということなの]かもしれない」となります。そうすると問題文全体はこんなふうになります。

「時として子供のわがまま、いたずら、無関心あるいは不作法としてしばしば外に現れる[見えている]ものが[は]、実はそうではなくて、見せかけの人間関係を作る[持つ]ことに対する反発だったりすることがあるかもしれない」最後に、instead を用いた例文をいくつかあげておきましょう。

The city has its pleasures, but he wished instead for the quiet of country life.

都会には都会なりの楽しみがあるが、彼はむしろ田舎の生活の静けさを望んだ

④ wish for A で「Aを望む」。

Let's go somewhere else instead.

そこでなくどこかほかの所へ行こうよ

My son never studies in the morning. Instead, he plays basketball with his friends.

うちの息子は午前中全然勉強しないで、友だちとバスケをしている
My daughter never studies. Instead, she watches television all day.

うちの娘は全然勉強しない。それどころか1日中テレビばかり見ている
My father didn't take his success for granted, but considered instead it good luck.

父は自らの成功を当然と思わず、むしろ幸運と考えた

☞ take A for granted で「Aを当然とみなす」。not A but B で「AではなくてB」。

including は for example と同じとみなせることがある

つまり including は、前後を「抽象とその具体例」の意味[論理]関係で導く前置詞だと知っていれば

General Motors tempted customers away from Ford with a steady stream of innovations including yearly styling changes.

上の英文の innovation がわからなくても、直後に including があるので、前後は「抽象とその具体例」の関係だとわかります。ならば、たとえ innovations including yearly styling changes を「毎年のモデルチェンジを含む様々な刷新」とまで訳せなくても、「毎年のモデルチェンジなど」と訳せば、大枠の意味はなんとかつかめますね。

☞ただ、すべての including がそうなるわけではないので注意。

全訳は以下の通りです。

「ゼネラルモーターズは毎年のモデルチェンジを含む様々な刷新によってフォードから顧客を引き離した」

☞ S+V away A, S+V A away 型は、「~を遠ざける[捨てる・どかす・取り除く・片づける]」となることが多い。